

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

- 1 学校名：埼玉県立秩父特別支援学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年11月10日（土）10：00-15：00
- 3 対象：生徒約20名、地域の方々約40名
- 4 実践形態：地域の障害者スポーツイベントでの交流事業
- 5 授業内容：交流イベント

2018（平成30）年11月10日（土）に、埼玉県立秩父特別支援学校にて、埼玉県障害者スポーツ協会主催の「ちちぶふれあいピック2018」が開催されました。

障害者の多様なスポーツ活動への参加の機会拡大や障害者スポーツに関連した人々のつながりを創出すること等を目的としたこのイベントには、推進校である秩父特別支援学校の生徒だけでなく、地域の障害者福祉施設の方々等も大勢参加されました。また、秩父市や近隣の地域のご当地キャラクターも参加して、大いに会を盛り上げていました。

障害者スポーツ体験の会場はグラウンド、体育館、そして多目的室の3ヶ所に分けられ、参加者は受付で配られたパンフレットを元に自分がやってみたいと思う種目に参加しました。グラウンドでは、短距離走やジャベリックスロー（槍投げの簡易版）の測定、さらにはフライングディスク等が行われました。体育館では、ターゲットボッチャ、ボッチャ、簡易型カーリング、ボックスホッケー、サウンドテーブルテニス等が行われました。多目的室では、スポーツ吹矢が行われました。

それぞれの種目が行われるところには、埼玉県障害者スポーツ指導者協議会等の方々がついて丁寧にやり方を教えてくださり、参加者は初めて行う種目でも安心して取り組むことができている様子でした。また、当日は天気にも恵まれ、ベストコンディションの中で行なわれた短距離走の測定では、普段の力を出し切ることができて喜ぶ生徒の姿が見られました。さらにボッチャ体験では、ボッチャ経験がある生徒も、普段より多くの観客の前で競技を行うため、少し緊張している様子が見られ、一球一球に緊張感が伝わってきました。投じたボールが白いジャックボールにぴたりとつくると大きな歓声が上がっていました。

また、体育館での競技の合間には、ご当地キャラクターも一緒に参加してレクリエーション大会が行われました。大きな青いビニールシートの上ののったバケツとボールをビニールシートの側面だけを持ってボールをバケツに入れる、というゲームを行いました。2チームに分かれて対抗戦形式で行ったため、手に汗握る接戦が繰り広げられ、とても盛り上がっている様子でした。

他にも、会場では、パンや飲み物等の物販も行われており、地域のお祭りのような雰囲気もありました。

担当者の方の話では、今後さらに参加者を増やして、このイベントを契機に秩父地域の障害者スポーツが盛んになって、さらには秩父特別支援学校の生徒が地域や他の学校の子どもたちと交流する機会を増やしていきたい、とおっしゃっていました。

## 6 イベントの様子



【 オープニングイベント 】



【 短距離走 】



【 ジャベリックスロー 】



【 フライングディスク 】



【 ターゲットボッチャ 】



【 ボッチャ交流会 】



【 ご当地キャラクターも参加したレクリエーション 】



【 物販 】